

plant tissues, but the shortest distance between the stoma and the phloem of straight parallel venation is about 50-60 μ , while the phloem of veinlets exists only about 30 μ below the abaxial epidermis.

Explanation of Plate 14

Melanaphis bambusae (Fullaway) on *Pleiblastus nezasa* Muroi

1. Transverse section of straight parallel venation of leaf.
2. Distribution of stomata on under surface of leaf.
3. Longitudinal section of leaf, showing stylets passing through stoma and spongy parenchyma into intercellular space, and not reaching phloem of veinlet.
4. Ditto, showing branched stylet track.
5. Ditto, showing stylets inserting to phloem through bundle sheath of veinlet.

Reference lettering

a: stoma; e: abaxial epidermis p: phloem; r: straight parallel venation; s: stylet sheath; st: stylet track; t: stylets; v: veinlet; x: xylem.

抄 録

大平仁夫著 日本産コメツキムシ科の幼虫の形態学的ならびに分類学的研究. iv+179 pp., 61 pls. 1962年8月. 著者自費出版.

潜土性害虫針金虫として農業及び林業上重要な位置にあるコメツキムシ科幼虫は、本邦では従来殆んどまとまつた研究がなく、種の同定は極めて困難であつたが、この度本会会員大平仁夫博士によつて200部限定で上記の総説が自費出版された。先づ巻頭のアート紙図版61葉は代表的な種の全形図とともに78種に及ぶ詳細な部分図が掲げられており、これには重要な害虫がすべて網羅されている。図版によつて概略の形態をつかんだのち本文の検索表及び記載によつて標本の所属位置を同定するように配慮された著者の意図がうかがわれる。本文179頁は、研究史にはじまつて幼虫の研究法、形態の解説などが述べられ読者に便利である。亜科、属、種の検索表とともに各種の詳しい記載がなされているが、これには成虫及び幼虫の習性が付記されており、更に幼虫による系統分類学的な考察がなされており、独自の見解が述べられているが、特に *Cardiophorinae* 亜科は独立の科としての扱いが望ましいと述べている点は注目すべきであろう。巻末には英文摘要と分布、生態の一覧表が付してある。表紙、目次、図版その他は活版、本文のみはタイプ印刷であるが明瞭できれいにできている。甲虫分類研究家だけでなく農業関係の方々にも便利な本だと思う。送料とも1,000円をそえて岡崎市愛知学芸大学農業教室の著者あて申し込めば入手できる。 (三宅義一)